

2019年度 群馬パース大学 SD 活動報告書

本学 SD 委員会では毎年度 4 月の会議で年間計画を策定し、年間計画に沿って活動を実施している。2019 年度は以下のとおり活動を行った。

I. 教職員 SD 研修

2019 年度の教職員 SD 研修は 10 月と 2 月の計 2 回実施した。10 月の研修では、全教職員を対象に「大学における自殺防止」をテーマとし、研修を行った。講師は本学教養共通教育部 榎本 光邦 准教授が務めた。本研修は学生相談部会からの依頼により実施する運びとなり、学生相談室のカウンセラーを担当している立場から、自殺企図者の心理、自殺予防の観点で講演が行われた。

また、2 月の研修では、全教職員を対象に「ハラスメントの考え方と職場環境づくり」をテーマとした研修を行った。講師には株式会社リンクス 人事コンサルティング 特定社会保険労務士 藪田 直子 氏を招いた。学校や職場におけるハラスメント防止は昨今組織運営の重要な課題であり、講演ではハラスメントの定義や実例をとおしてその防止方法などが紹介された。

2 回の研修とも実際の業務に結び付く内容であり、好評であった。

II. 事務職員研修

事務職員研修では、全事務職員および教員希望者を対象に「私立大学等経常費補助金から見る 今、私学に求められていること」をテーマに研修を行った。講師は本学事務局財務部 木村 隆 部長が務めた。講演では私立大学経常費補助金の概要や本学の交付状況などが紹介された。大学職員として、大学運営に直接的に関係する財務についての知識を深める機会となった。

III. 教職員研修等の情報管理

学内で実施される教職員対象の研修会等の情報管理を目的として、各委員会等に対し、「学内研修・講習会等に関する調査」を実施し、調査の結果を「群馬パース大学教職員向け学内研修会等一覧」として作成した。作成した一覧は、全教職員に情報共有することを目的に、学内のグループウェアにアップロードし、公開した。

IV. 基盤整備

基盤整備の活動として、担当学科による他大学の SD 活動の状況の調査を行った。他大学の SD 関連の組織構成や研修会の実施内容が示され、本学の SD 活動の参考としていくことを確認した。